

## 島崎・浜町ウォーターフロントエリア民間資金等活用事業可能性調査の中間報告について

今年度の委託事業として実施している本調査において、民間事業者（施設の運営管理、ホテル等）へのヒアリングを進めているところであり、その状況について下記のとおり報告いたします。

なお、受託者において、引き続きヒアリングを進め、年度内に、ヒアリング結果に基づく最終報告を受ける予定としております。



## ◆エリア別ヒアリング結果（現時点で115社へ実施）

	評価点	課題点
Aエリア	○天橋立から近く観光立地としては魅力的である。	○周辺エリアの観光地としての賑わい不足や建築費の高騰が懸念される中、C・Dエリアを始め、エリア一帯がどう賑わっていくか、それ次第で判断をしたいとの意見が多い。
Bエリア		○既存施設に対しての民間投資を行うのが難しいとの意見。
C・Dエリア	○他の道の駅と比較しても非常にポテンシャルが高く、施設を拡張することで、客数、売上高ともに大幅増を目指せるとの意見。 ○公共が整備した上で、民間が運営し売上の一部を還元するスキームを想定。 ○公園部分も道の駅とセットであれば興味があるとの意見。	○立地が良い割に規模が小さく、「道の駅」と認識されにくい印象。 ○公園部分は制限のないエリアが少なく、公園単体で収益を上げる事業は難しいとの意見。

## ◆現時点でのヒアリング結果に基づくエリア別評価

Aエリア	現時点では出店意向のある事業者は現れておらず事業化の可能性は低い。一方で、立地評価は高く、C・Dエリアの活性化次第での活用に興味を持つ事業者が複数あり事業化の可能性はある。
Bエリア	民間資金等による事業化の可能性は低い。
C・Dエリア	公設民営での出店に興味を持つ事業者が複数あり事業化の可能性はある。